



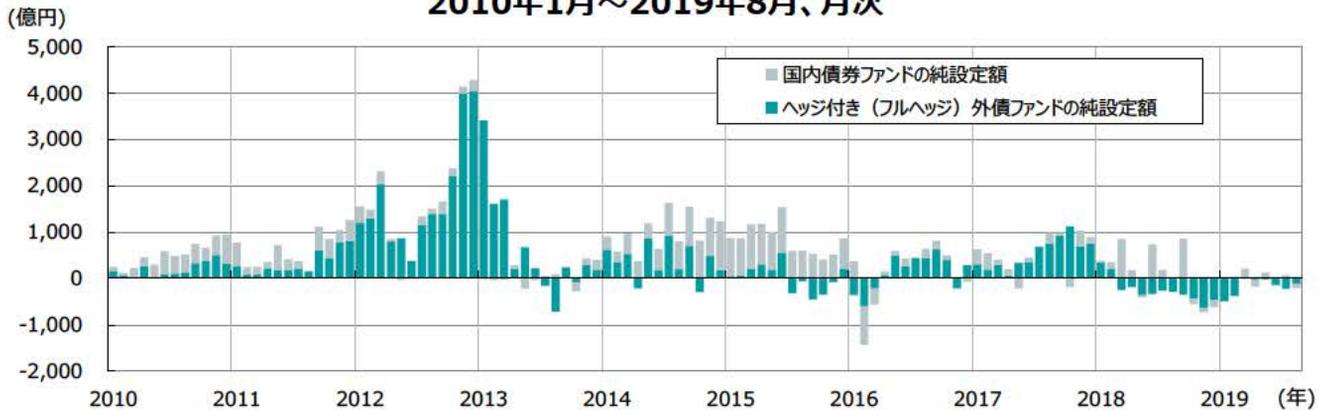
- ◆ **ヘッジ付き（フルヘッジ）外債ファンドは解約額が設定額を上回る状況が続いていましたが、足元ではその傾向も収まりつつあります。**
- ◆ **外債の相対的な利回りの高さに加え、日米間の金利差が縮小し、ヘッジコストが低下傾向にあること等がその理由と考えられます。**
- ◆ **GPIF*は、マイナス利回りとなる国内債券が増加している現在の市場環境を受け、ヘッジ付き外債について国内債券とみなすことを決定しました。今後同様の動きが他の投資家にも広がることも想定され、外債市場を下支えする要因となることも見込まれます。**

*年金積立金管理運用独立行政法人

【国内債券ファンドとヘッジ付き（フルヘッジ）外債ファンドの設定状況】

国内公募投信の状況を見ると、2018年以降続いていたヘッジ付き（フルヘッジ）外債ファンドの解約も足元では収まりつつある模様です。

**【図表】国内債券ファンドとヘッジ付き（フルヘッジ）外債ファンドの純設定額
2010年1月～2019年8月、月次**



【ヘッジコストの状況：米ドル金利低下により低下】

米国が金融緩和に方針転換したことで、米ドルの金利が低下しています。その結果、日本円との金利差が縮小し、ヘッジコストは低下傾向にあります。

【ご参考：GPIF平成31年度計画を変更】

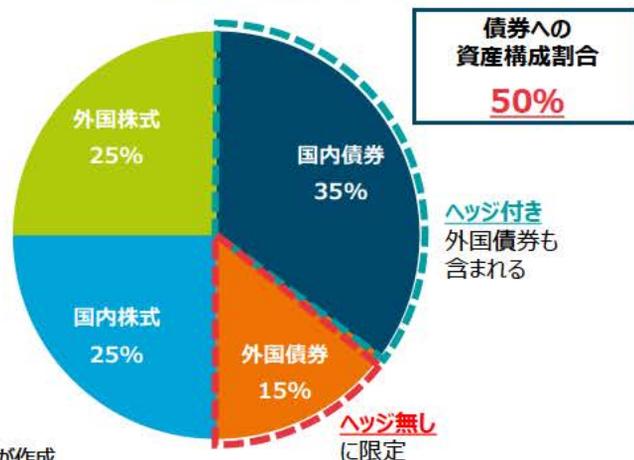
GPIFは為替ヘッジ付き外国債券について、乖離許容幅管理上、**外国債券の資産構成割合から控除し、国内債券の資産構成割合に算入**することを決定しました。これにより、GPIFの外債への投資枠が実質的に拡大することになります。

【図表】短期金利の推移

2010年1月1日～2019年9月30日、日次



<現行の基本ポートフォリオ>



出所：イボットソン・アソシエイツ、GPIF、各種資料等を基にドイチェ・アセット・マネジメント(株)が作成
※データは記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

ヘッジ付き外債投資の状況

ご留意事項

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

●投資信託に係る費用について

【お申込みいただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。】

- 購入時に直接ご負担いただく費用・・・購入時手数料 上限3.85%（税抜3.50%）
- 換金時に直接ご負担いただく費用・・・信託財産留保額 上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・運用管理費用（信託報酬） 上限2.068%（税抜1.88%）
- その他費用・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。
投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ドイツ・アセット・マネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託の運用による損益は、すべて受益者に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

なお、当社では投資信託の直接の販売は行っておりませんので、実際のお申込みにあたっては、各投資信託取扱いの販売会社にお問合せ下さい。

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第359号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、

一般社団法人日本投資顧問業協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会